

## 極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2002年春季大会（大宮ソニックシティー）での開催内容のご案内をいたします。

**日時**：2002年5月24日（金）17：45～2時間程度

**場所**：大会会場（大宮ソニックシティー4階）

**話題**：

### 1. 極渦縁辺領域の微細構造と物質混合

「極渦を想定した流れにおけるカオス移流による微細構造の生成」

水田 亮（京都大学理学部）

「極渦縁辺領域に捕捉された小規模波動擾乱」

富川喜弘（東京大学先端技術研究所）

### 2. 2002年冬季北極観測報告

「北極航空機観測（AAMP02）」

山内 恭（国立極地研究所）

「SnowWhite At Ny-Aalesund（SWAN2002）」

—北極における水蒸気ゾンデ観測キャンペーンの速報」

藤原正智（京都大学宙空研究所）

前半は極渦変動に関する一般講演です。冬季～春季に現れる周極渦によって極域成層圏は孤立し低温となり、南極ではオゾンホールが形成される一因となります。強い極夜ジェットを境界とする極渦内外の大気交換は、主にプラネタリー波の砕波に伴って形成される微細構造を介して行われると考えられています。今回は、

極渦縁辺領域に見られる微細構造と物質分布に関する最新の研究を2名の方に紹介して頂きます。

後半は先の冬に行われた北極域の観測の報告をして頂きます。初めは、日本から北極点、ノルウェーまで圏界面付近を通った航空機観測に関する報告です。観測は1998年に続き2度目の試みで、極渦との相対的な位置に対する対流圏一成層圏間の物質輸送などを考察する目的で行われました。次に、低温な対流圏上部～成層圏でのゾンデによる水蒸気観測の精度・頻度向上を目指した取り組みとして、ノルウェーでのSnow-Whiteによる観測の結果を紹介していただきます。

**代表**：

木村龍治（東京大学海洋研究所）

**世話人**：

平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学理学部）

浮田甚郎（米国航空宇宙局）

高田久美子（地球フロンティア研究システム）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

佐藤 薫（国立極地研究所）

本田明治（地球フロンティア研究システム）

**問い合わせ先**：

極地研究所 平沢尚彦

Tel：03-3962-5904, Fax：03-3962-5704

E-mail：hira@nipr.ac.jp